

# 石川県鍼灸師会報 '17.3 第7号

いしかわけんしんきゅうしかいほう 公益社団法人石川県鍼灸師会



写真：「子育て支援メッセ2016」平成28年10月30日

## 〈 目次 〉

1. 創立35周年記念式典
2. 学術部講習会
3. 保険部の研修会
4. 普及部の活動
5. 青年部の活動
6. おしらせ  
あとがき

## 1. 創立 35 周年記念式典・祝賀会

場 所：金沢ニューグランドホテル

日 時：平成 28 年 11 月 20 日（日） 12:00～15:00

石川県鍼灸師会の創立 35 周年記念式典が平成 28 年 11 月 20 日 12 時より金沢ニューグランドホテルにて開催されました。

開会の辞、会長式辞に続いて石川県知事表彰、会長表彰、会長感謝状の授与が行われました。県知事表彰は石川県知事の代理として県健康福祉科部長の山本 陽一氏により長町 洋治、寺本 憲雄、光井 峰生の 3 名に授与されました。会長表彰は永年表彰として会長により桶元 成貢、宇野 幸治、村田 淳一、三野 喜邦、宮野 健二郎、功労表彰として大内 康弘の 6 名、会長感謝状は松田 朗、山下 竜司の 2 名に加え金沢医療技術専門学校、セイリン株式会社、株式会社カナケンの計 8 名、3 団体が受賞されました。

表彰者・受賞者を代表して長町 洋治が謝辞を述べられました。（敬称略）

そして来賓の方々からたくさんのあたたかい祝辞をいただき、また多くの祝電もいただきました。

最後に公益社団法人 日本鍼灸師会倫理綱領の朗読と閉会の辞が行われ、式典は無事閉幕しました。

ご多忙な中ご臨席くださった来賓の方々、及び会員の皆様には篤く御礼申し上げます。

（上野 晃一）



※ 35 周年記念号に掲載を予定していた長町先生の式典での謝辞を以下に掲載します。

## 謝 辞

長町 洋治

本日はご多忙の中、ありがとうございました。

私は、長町洋治(ひろじ)と申します。このホテルの近くの長町武家屋敷の「長町」とは何ら関係はありません。ただ、私の出身地の四国、香川県での家系の歴史を調べますと、公家や武家とのつながりが深く、富山県では落城し切腹した城主も記されておりました。私も先月末、切腹とまではいきませんでした。腹腔鏡による手術で腹部に 5 か所ほど穴を開けられ、以来、腹部丹田の気が抜けてしまい、声を出すのが精一杯の状況であります。反面、現代医学の医療技術の進歩を身をもって体験させられました。進化する現代医学に比べ、我々が携わる東洋医学の立場はその影に隠れた「黒子」的存在と言う人もいるかもしれません。

しかし、現代医学における臨床実験や研究成果の発表の中には、東洋医学の伝統の正しさを説明していただけるものが多く存在しております。私としては、東洋医学が長い歴史上、継続され続けているのは、このような現代医学の科学的研究があればこそと感謝しております。故に私たち鍼灸師は決して「黒子」的立場とは考えておりません。

今日、鍼灸業界は厳しい経済状況に直面しております。さまざまな原因が存在しておりますが、私たちは、業界団体ばかりに頼るのではなく、自らの努力によって医療技術を高め、鍼灸治療の素晴らしさを世間の多くの人々に理解していただけるよう努めていかなければなりません。今後とも宜しくご指導、ご協力のほどお願い致します。

本日は、誠にありがとうございました。

## 石川県鍼灸師会創立 35 周年記念式典に参加して

高田 公太郎

鍼灸師会の皆さま、創立 35 周年おめでとうございます。本日、表彰を受けられた先生方におかれましては日頃のご尽力の賜物と心より祝福いたします。来賓の方々からご祝辞を承り、歴代の先生方のご功績に感銘を受けながら、鍼灸師会 35 周年という節目を重く感じました。

思い起こせば、我が治療院も加賀の地で開業いたしまして 35 年が過ぎ、鍼灸師会と同じように歩んできました。薄氷を踏む思いで今日までやってきましたが、ひとり一人の患者との丁寧な付き合いが功をなしたものと思われれます。継続は力なりと申しますが、これもひとえに鍼灸師会の先生方の力添えのおかげだと感謝しております。

本日も話題になりました地域包括システム、今後は自分たちも地域の一員として地域の皆様の健康維持、介護予防に役割をはたしてまいりたいと思っています。

最後に鍼灸師会の、益々のご発展をお祈り致します。

## 石川県鍼灸師会創立 35 周年記念祝賀会

上野 晃一

石川県鍼灸師会の創立 35 周年記念祝賀会が平成 28 年 11 月 20 日 13 時より金沢ニューグランドホテルにて行われました。

多くの来賓の方々や会員が御列席する中、当会顧問の田中 博人前県議会議員が乾杯の音頭をとり和やかに祝賀会が始まりました。

パーティーに供された中華形式の料理はいずれもことのほか美味しく、出席者の舌を楽しませてくれたものと確信しています。

ステージでは先程会長感謝状を授与された山下 竜司先生が素晴らしいマジックショーを繰り広げられ、我々の目を大いに楽しませつつその妙技の摩訶不思議さに驚嘆させられました。

やがてはじめは来賓の方々との交歓から始まった交流の輪が次第に広がり、あちらこちらで談笑の花が咲く様子はとても楽しげなものでした。

皆で記念撮影を行った後、最後に山崎 稔晃組織部長による三本締めをもって楽しかった祝賀会は閉幕しました。

5 年後、10 年後もこのように皆で集まり祝いたいと思ひ願いつつ、明るい気持ちで帰路につきました。

石川県鍼灸師会創立 35 周年記念にふさわしい、素敵な祝賀会になりましたことをご来賓の皆さまや当会会員の皆さまに改めて深く感謝いたします。



## 2. 学術部講習会

### 第 12 回（公社）日本鍼灸師会 全国大会 in 福岡

日 時：平成 28 年 10 月 9 日（日）・10 日（祝・月）

場 所：福岡県福岡市博多区 パピヨン 24 ガスホール

#### 「小児鍼とスキントッチ」を受講して

松田 朗

10 月 10 日午前 9 時から「小児鍼とスキントッチ」の講義が行われました。

前半は、徳島県鍼灸師会会長で日本スキントッチ協議会会長の篠原 新作先生により「スキントッチ」の講義が行われました。

「スキントッチ」とは、伝統医療であります小児鍼を現代風にアレンジされた手技で、どこのご家庭にも有るスプーン、ハブラシ、ドライヤーを用いて子供のツボに刺激を与え、成長を促す健康法です。これは、鍼灸師がお子さんの親に対して手技を教え、その手技を教わった親がお子さんにしてあげます。親とお子さんとのスキンシップも兼ねているので「スキントッチ」と名付けたそうです。

現代の環境の変化からか、切れやすい子、元気のない子が増えています。そのような子供たちにも「スキントッチ」は有効だと篠原先生は述べられていました。

後半は、日本小児はり学会会長 井上 悦子先生による「小児はりの専門性」の講義がありました。

小児はりとは、日本独自の技法でその歴史は長く、鎌倉時代の書物に「間鍼（あいばり）」として記されているようです。しかし、その刺激量はかなり強いものだったようで、現在のような弱刺激の技法は江戸中期～後期にかけて考えられたようです。特に関西方面で広まったとのことで、鍼灸師＝小児はりというほど認知されているようです。

皮膚への刺激についてもお話がありました。皮膚は受精卵から細胞分裂の過程で外胚葉から作られてきます。これは、脳と同じ胚葉からできてきます。この皮膚ですが、表皮にはケラチノサイトという物質が大きな役割を果たしていることが最近の研究で分かってきたとのことです。これは、脳と同じように情報処理機能を持ち、ケラチノサイトの中で情報伝達が行われており、赤・青・緑といった色の周波数も感じているそうです。このような皮膚に刺激を与えるということは、やはり子供の成長に大きな変化をもたらすのではないかと感じました。

是非、子供の時期からの「はり刺激」というものをもっと広められたら良いと思います。



## 県民公開講座「健康ウォークのススメー正しく歩いて介護予防ー」を受講して

松田 朗

10月10日午前10時30分から県民公開講座「健康ウォークのススメー正しく歩いて介護予防ー」の講義が行われました。講師は、佐田整形外科病院院長の佐田 正二郎先生と、福岡県RKB毎日放送アナウンス部副部長の龍山 康明さんとのトークショー形式で、終始楽しい雰囲気で行われました。

介護されないための体づくりということで、ジョギングも一つの方法ではありますが、脚への負担が3倍～5倍と、かなり負担が掛かるのに対し、ウォーキングは脚への負担が体重の1.5倍～2倍と比較的少なく、長く続けられる運動法であると佐田先生はおっしゃられました。

ウォーキングの正しい姿勢については、まず直立し、腕を挙上させることで背筋が伸び、その背筋が伸びた姿勢を保持しながら、腕を肘から曲げて硬くなりすぎないように肘を引くように腕を振り、足趾を少し反らせながら歩くと良いそうです。

ウォーキングシューズについても触れられ、①踵部分（ヒールカウンター）がしっかりしたもの、②母趾球部分で曲がるもの、③適度なよじれがあるものが良いそうです。

なるべく介護が必要とされないよう、正しい姿勢での適度な運動を心掛けていきたいところです。



## 新年学術講習会

日 時：平成 29 年 1 月 22 日 10:00～16:00  
場 所：石川県地場産業センター 本館 第 5 研修室  
講 師：清野鍼灸整骨院 院長 清野 充典先生  
演 題：「鍼灸福袋」

### 学術講習会「鍼灸福袋」に参加して

松田 朗

1 月 22 日、石川県地場産業振興センター本館第 5 研修室に於いて、学術講習会「鍼灸福袋」が開かれました。

講師は、清野鍼灸整骨院院長で、順天堂大学医学部医史学研究室でいらっしゃいます、清野 充典先生でした。

前日には当会の新年会にも出席され、親睦を深めさせていただきました。

講演の内容は、

- ・自分が置かれている立場を認識する
- ・自分が行っていることを認識する
- ・これから何をすべきかを考える

ということを骨子として進められました。

清野先生は、鍼灸の歴史にも大変精通しておられ、演題の通り次から次へと様々なお話をされました。

実技の時間も設けられ、その中で清野先生が実際に行っている施術も披露されました。

講演の内容はオフレコで・・・ということでしたので、いつもよりも更に中身の薄い感想文となっており、申し訳ございません。しかし、鍼灸というものを改めて考えさせられる貴重な講演でした。

### 平成 28 年度学術講習会

上野 晃一

平成 28 年度学術講習会が平成 29 年 1 月 22 日（日）10～16 時にわたって石川県地場産業振興センターの本館第 5 研修室で行われました。

講師を務められたのは清野 充典先生です。清野先生は清野鍼灸整骨院 院長、順天堂大学医学部医学史研究室 研究員、明治国際医療大学 客員教授をはじめとして、医学・医療の分野においてこの場では紹介しきれないくらいに幅広く活躍されています。また先生は世界中でたくさんの講演をなさっていますが、意外にも日本国内で鍼灸師を対象とした講習会で講師を務められるのはこれが初めてとのことだそうです。

まず会場で配布された資料の数々、これまで清野先生が日本国内のみならず世界中で発表され

た主な論文の数々、特に小冊子「出土文献に見える『氣』字について」に驚かされました。

午前は東洋医学・鍼灸医学・日本鍼灸の沿革と概要や医療と医療類似行為について、ご自身が研究された結果について解説されました。

驚くべき質と量を持った内容でしたが、これらすべてが臨床家として自ら抱いた疑問を解明するためのものであることに最も驚かされました。

午後からは、まずは鍼灸医学医療の現状について近代から現代に至る沿革や中医学についての解説に始まり、鍼灸治療とは何かと銘打って東洋医学・東洋医療・鍼灸治療について教えていただきました。

その後の臨床講習では鍼の基本手技の大切さや押し手の重要性、主に杉山流の伝統的な手技について学ぶことができました。また灸の基本手技やお灸についても教えていただき、知っているつもりでもまだまだ知らないことがたくさんあることを改めて思い知らされました。

臨床の際に被検者となられた定池会長が、術後は随分と顔色も良くなりすっきりとした様子だったのがとても印象的でした。

我々が普段行っている鍼灸の幅広さ奥深さを思い知らされる素晴らしい講義でした。清野先生にはこの場をお借りして改めて深く感謝いたします。



※次のお題です →





### 3. 保険部の研修会

#### 平成 28 年度 第 2 回療養費適正合同研修会

日 時：平成 29 年 1 月 15 日（日） 13：30～15：00  
場 所：石川県地場産業センター 新館 2 階 第 10 研修室  
講 師：金沢脳神経外科病院 副院長 宗本 滋先生  
演 題：「見逃してはならない危険な痛み」～脳神経外科領域における頭・頸部症状

#### 療養費指導適正研修会

上野 晃一

平成 29 年 1 月 15 日（日）石川県地場産業振興センターにて石川県鍼灸マッサージ師会と当会の合同で療養費指導適正研修会が行われました。

テーマは「見逃してはいけない危険な痛み 脳神経外科領域における頭・頸部症状を中心に」、講師を務められたのは金沢脳神経外科病院 副院長 宗本 滋先生です。

まずは頭痛の大まかな分類と危険度の相関や鑑別に始まり、そののち危険度の高い頭・頸部痛についての検査や治療法について学ぶことができました。

会場入りの際に手渡された資料も CT・MRI 画像をふんだんに用いた詳細なものでしたが、圧巻はパソコンからスクリーンに映し出される脳外科手術の動画でした。宗本先生自らが執刀された際の動画は頭蓋骨を切り取り、硬膜下の出血や脳内の動脈瘤の処置、脳腫瘍の切除の様子など数々の動画は普段なかなか目にすることができないもの。また、元来教材用に撮影された動画なのか、その手術の合間にメジャー様の紙片の切り取りで腫瘍等の大きさを示されていたが、小さなもので 2mm 程度しかない病巣に対し正確に処置が進んでいく様には思わず息をのんで見守ってしまいました。

また、脳内の病変が進行する様子や手術後に回復する様子を段階的に写した写真資料やその説明の際に使われた様々な角度からの脳の立体的な構造などは、書籍を通しての知識だけではなかなかイメージできないものだと痛感しました。

講習後の質問時間も活発な質疑が行われ、参加者たちの関心の大きさが実感できました。今後は頭・頸部痛の患者さんに対してより一層の注意を払い、重篤な症状の見落としが生じないように努めようと決意を新たにしました。

宗本先生、素晴らしい御講義をありがとうございました。

#### 平成 28 年度 第 2 回療養費適正合同講習会

場 所：石川県地場産業振興センター 新館 2 階 第 10 研修室  
日 時：平成 29 年 1 月 15 日 15：15～16：00  
演 題：「療養費取扱の現状と今後の動向について」

## 4. 普及部の活動

### 金沢マラソン2016

場 所：金沢市内

日 時：平成28年10月23日（日） 13:00～14:30



### 子育て支援メッセいしかわ2016

場 所：石川県産業展示館 4号館

日 時：平成28年10月30日（日） 10:00～16:00

本年も子育て支援メッセに参加しました。

例年通り、親子スキンタッチを紹介しました。日頃のお子さんの健康管理をスプーンとハブラシで手軽にできる事を実体験していただきました。

ブースへの来場者数は、158名（内、子供79名）でした。

当会から会員12名と（公社）石川県鍼灸マッサージ師会から2名の先生方で対応しました。

（富田）



## 県民公開講座

場 所：金沢ニューグランドホテル  
日 時：平成 28 年 11 月 20 日（日） 10:00～11:30  
講 師：小紺 有花先生  
演 題：「からだ と 暮らしを発酵させよう」

### 県民公開講座 からだと暮らしを発酵させよう 上野 晃一

石川県鍼灸師会による県民公開講座が平成 28 年 11 月 20 日（日）、金沢ニューグランドホテルにて午前 10 時から 90 分にわたって開催されました。

講師にお迎えした小紺 有花（ここん ゆか）先生は麴料理研究家にして発酵大学専任教授を務められる麴食文化の第一人者で、TV 出演や著書出版、海外でのセミナー活動など金沢を起点に麴による発酵食文化の素晴らしさを幅広く精力的に発信されています。

参加いただいた方々や当会会員で埋まった会場に、キリリとした和服姿で颯爽と現れた小紺先生は現代の食生活が健康に及ぼす悪影響やそれを防ぐ発酵食品の働きについて、ご自身の体験談も交えながら滔々と語られました。その説明は普段何気なく口にしている食べ物の問題点やそれによって引き起こされるからだの不調、そして食生活によるからだの不調を防ぎ回復させるための麴の活用法など、そのどれもが非常にわかりやすく理路整然としたものでした。

膨大な資料を用いての体の不調やその改善法について、そのメカニズムにまで切り込んだ高度な内容であったにもかかわらず、まったく退屈しないどころか難しさすら感じませんでした。

講演後も限られた時間でしたが、いくつかの質問に快く丁寧にご返答いただき、大変充実した講座となりました。

司会を務めた大内青年部長・広報普及副部長の言葉ですが、普段我々鍼灸師は鍼や灸を用いてたらだの表面から刺激を与えて患者の体調を整えますが、今回はからだの内側からの体調管理の重要性を学ぶことができた点でも大変有意義な講座であったと思います。

今回の県民公開講座で学んだことを輪唱の場での生活指導に加えることで、より一層地域の人々の健康改善・増進に役立つことと確信します。小紺先生、本当にありがとうございました。



## 5. 青年部の活動

### 平成 29 年新年会

日 時：平成 29 年 1 月 21 日（土） 19：00～21：00  
場 所：八兆屋

和やかに、翌日の講習会に向けて英気を養いました。お酒もどんどん進み（過ぎて^^;）楽しいひとときでした。



## 6. おしらせ

### 平成 29 年度通常総会

日 時：平成 29 年 5 月 14 日（日） 9：30～12：30  
場 所：石川県地場産業振興センター 新館 第 13 研修室

**ご出席をお願いいたします**



## あしがき

今朝の朝刊に春の訪れを知らせる兼六園の早咲き桜の「ツバキカンザクラ」が咲き始めた記事が写真入りで掲載されていました。

春は新年度事業のスタートになります。

今年も前年に引き続き、災害医療研修（日本鍼灸師会災害支援鍼灸師養成講座、J I M T E F）への参加を予定しています。

また今年も当会主催で介護予防運動指導員養成講座の開催を予定しています。会員の先生方の受講をお願いしたいと思います。

これらの資格は地域包括ケアの一環として医療関連職種連携による災害医療に関わるために役立ちます。

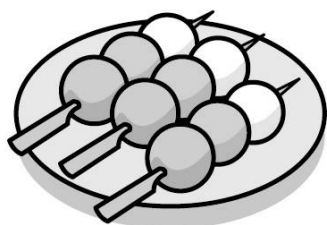
鍼灸師として変化していく医療事情に柔軟に対応していくため、地域医療での活躍の場を広げていくことが大切だと思います。

会報作成にあたり、原稿依頼に快く応じて下さいました会員の先生方に心からのお礼を申し上げます。

会報に対するご意見、ご感想などございましたら広報部までお寄せ下さい。

今後とも広報活動に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

富田 あゆみ



**発行 公益社団法人 石川県鍼灸師会**

会長 定池 寿

〒921-8016 石川県金沢市東力町ニ 177 ST ビル 203

TEL 076-259-0750

FAX 076-259-0751

担当 広報普及部

編集部長

富田あゆみ

編集委員

定池 寿

・ 金谷由久

中村智彦

・ 上野晃一

大内康弘

・ 松田 朗